

平成26年度学力向上マニフェスト

本年度の指導の重点 (昨年度の成果と課題を踏まえて)	取組の概要(実施内容)	評価指標 取組指標 (教師側の指標) 成果指標 (子ども側の指標)	予算執行	取組の成果	評価
教師の授業力向上	<ul style="list-style-type: none"> 校内研究の充実 実技研修の実施 特別支援教育の充実 外部講師の招聘 	<p>OJTや校内研究の充実で、授業力の向上を図る。研究授業を7回実施して、講師の指導を受ける。全教員が1回以上授業を公開して学び合い、授業力向上に努める。</p> <p>楽しくよく分かる授業の工夫により、学校が楽しいと感じる児童を増やす。67.2%→80%以上</p>	<p>校内研修講師報償費 23,000円×12回=276,000円</p>		
基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 算数習熟度別指導の充実 電子黒板の活用 	<p>算数習熟度の教室でも電子黒板を活用した指導を展開して算数の基礎・基本の一層の習熟を図る。</p> <p>区学力調査の算数で、3年生以上は全て、区の平均を上回る。</p>	<p>デジタル教科書 算数・社会・理科 296,800円</p>		
基礎学力の定着	<ul style="list-style-type: none"> 復習(くり返し学習)の推進 くり返しスキルプリントの活用 	<p>力試しの問題から実態に応じて、フォローアップやチャレンジができるように個に応じた問題を充実させる。</p> <p>授業や補修学習及び家庭学習で、自分に合った問題でくり返し学習をして、基礎学習を確実に身に付ける。</p>	<p>「問題データベース」(東京書籍) 73,500円×3教科(国、算、理・社) =226,800円</p>		

【評価】 成果指標の達成度から評定(A・B・C)を決める
A: 達成度90%以上 → 目標達成と見なし新たな目標を設定する B: 達成度が9割未満5割以上 → 継続実施 C: 達成度が5割未満 → 目標の見直し